

## 卷頭言

## 学習指導要領に基づく効果的な指導を求めて

数学部会長 弓削 直樹

本年6月に開催されました数学部会春季総会において、昨年に引き続き、部会長をお受けすることになりました。皆様のお力添えを得て、責務を果たしていきたいと思えます。

本日、数学部会誌「 $\alpha - \omega$ 」第52号をお配りすることができました。日頃、熱心に研究活動を続けておられる先生方から貴重な研究成果を寄稿していただき、厚く感謝申し上げます。

昨年発行された第51号から表紙のデザインが変わりました。編集委員のアイデアにより発行号の数値に関連したものを表示しているようで、今後の表紙も楽しみの一つになっています。

半世紀にわたって継続して発行されてきた本部会誌「 $\alpha - \omega$ 」が、今後も皆様の御協力により、ますます充実した内容で埋め尽くされ、愛読されますよう期待しております。

さて、年次進行で実施している新しい学習指導要領は、生徒に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指しています。「確かな学力」として基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決させるために必要な思考力・判断力・表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことを重視していることは、既に周知のことであり、各校において、この趣旨を踏まえた教育活動が展開されているところです。

特に、言語活動の充実、論理や思考などの知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となり、前述の思考力・判断力・表現力等を育むために有効な手段であるとして示されています。言語活動を適切に位置付け、授業の構成や指導の在り方を工夫改善していくよう努められることをお願いいたします。

また、新しい学習指導要領では、学校や生徒の実態等に応じて、中学校段階の学習内容の確実な定着を図るための指導を行えることが新たに示されています。必要がある場合には、その学習内容の確実な定着を図るための学習機会を適宜設け、学校設定科目等を履修させた後に、数学Iを履修させたりなどの工夫が行えるとしています。指導内容のまとめ方や指導の順序、重点の置き方などに創意工夫を生かしたり、内容の重要度や生徒の実態に応じてその取扱いの軽重を考え、生徒一人ひとりの能力を十分に伸ばしたりするなど、効果的な指導に努めていただきたいと思えます。

そして、きめの細かい学習指導と生徒一人ひとりの学習の確実な定着を図るよう努められ、学習評価の結果を生徒に適切にフィードバックしつつ、日々の指導の改善・充実を図り、教育の質を向上させていただきたいと思えます。

本数学部会の活動は、総会、研究大会、見学研修会等であります。多くの先生方に参加していただき、お互いにより良い刺激を受けていただきたいと思えます。そして、先生方の一層の資質の向上、高等学校数学教育の発展を心より御期待申し上げます。